

第二次世界大戦中、自らの命を危険に
さらしながらもユダヤ人たちの救済に
尽力した外交官たちがいた—

正義の外交

Righteous

アレキサンデル・ワドシュ氏 (外交官、当時は在スイス・ポーランド公使)

Diplomacy

2022. 9/11(日)

14:00~16:00

ピースおおさか 1階講堂

(申込先着順 定員160名)

第二次世界大戦中、ナチス・ドイツによる迫害で多くのユダヤ人たちが犠牲になりました。この迫害の中で、杉原千畝氏をはじめ、各国の外交官たちは自分たちの特権を活かして人々を救済しました。

ホロコースト生還者のインタビュー上映や、危険を冒しながらも手を差し伸べた外交官たちについての講演を行います。

【インタビュー上映(日本語字幕)】

- ・エルジュビエタ・フィツオフスカ氏 (ホロコースト生還者)

【出演者】

- ・稲葉千晴氏 (名城大学都市情報学部教授)
- ・ヤン・リーデル氏 *日本語通訳が入ります。
(ENRS 運営委員会メンバーおよびコーディネーター(ポーランド)・クラクフ教育大学教授)

記憶と連帯の欧州ネットワーク www.enrs.eu

(ENRS: European Network Remembrance and Solidarity)

「記憶と連帯の欧州ネットワーク」は、ドイツ、ハンガリー、ポーランド、スロバキア、ルーマニア(2014年に加盟)の政府機関によって2005年に創設されました。20世紀ヨーロッパにおける歴史の記憶の文化の発展を支援することを目的として、展示会や出版物の発行、ワークショップ、研究訪問、会議に至るまで幅広いプロジェクトを企画しています。今現在は、上記5か国に加え、他のヨーロッパ諸国もオブザーバーなどとして参加しています。本部はワルシャワにあります。

【対象】どなたでも 【申込方法】お電話にて 【定員】先着 160 名

【参加費】無料(ただし入館料が必要) 大人 250 円、高校生 150 円、中学生以下は無料、65 歳以上・障がい者の方も無料(要証明書)、

*来館の際は必ずマスクをご着用ください。また、体調不良の方のご来館はお断りさせていただきます。

詳しくは当館HPをご覧ください。

*申込をされた方の個人情報、この事業の連絡もしくは新型コロナウイルス感染拡大防止のために、必要がある場合のみ使用します。

*今後の状況によっては、内容などを変更する場合がございます。

*定員に達した場合は、申込受付を終了させていただきます。

当日は、申込者以外 会場にご入場いただけません。

【お問い合わせ】ピースおおさか (公益財団法人 大阪国際平和センター)

〒540-0002 大阪市中央区大阪城 2 番 1 号 TEL 06-6947-7208

<http://www.peace-osaka.or.jp> FAX 06-6943-6080 JR 環状線「森ノ宮」北出口・Osaka Metro「森ノ宮」①番出口



【主催】European Network Remembrance and Solidarity (記憶と連帯の欧州ネットワーク)

【共催】ピースおおさか(公益財団法人 大阪国際平和センター)